

2006年8月17日

大分市長 釘宮 磐 殿

国保を考える大分市民の会
代表 佐藤秀樹

国保制度の改善を求める要望書

市民の命と健康を守るために、ご尽力いただいていることに、敬意を表します。

市民生活は、小泉「構造改革」路線による、税制、社会保障制度の連続改悪、そしてこれに国保税の大幅な値上げなどが市民の暮らしを直撃しています。

長引く不況のなか、リストラなどで大分市の国保加入世帯は急増しています。年所得150万円以下の世帯が8割を占め、所得ゼロ世帯は41%と増えています。また所得階層別の収納状況みても所得の低い世帯ほど収納率が低くなっています。国保税の値上げは、滞納世帯のいっそうの増加、収納率低下を引き起こすことが懸念されます。またこのことが、短期証・資格証明書発行世帯を増加させ、受診抑制につながり、市民の命と健康に重大な影響を与えることは避けられません。

国民健康保険法は「社会保障と国民保健の向上に寄与する」と明記されています。この立場を堅持し、国保世帯の現状を直視し、市民の命と健康を守るため、下記事項について、善処されるよう要望いたします。

記

- 1、国保世帯の現状と、今後の制度改正の動向などについて、説明していただくこと。
- 2、低所得者への減免制度は、利用しやすいようにするために、適用基準を引き上げるととともに、手続きを簡素化すること。また制度の周知を市報などで、常時おこなうこと。
- 3、受診抑制となっている短期保険証・資格証明書の発行を中止すること。こうした方々の受診状況についての実態調査をおこなうこと。
- 4、一部負担金の免除制度については、もっと利用しやすい制度に改善すること。同制度の周知を常時おこなうこと。